

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 大谷和雄
幹事 池田 隆
会報委員長 浅井誠寿

まことの幸福は人助けから

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

1992~93年度 RI会長 クリフォード・L・ダクターマン

No. 14

創立10周年記念式典・祝宴

平成4年10月15日(木) 愛知厚生年金会館 鳳凰の間 雨のち晴

第260地区88番目、市内14番目のクラブとして昭和57年8月16日に創立例会を行ってから10年の月日が流れました。ここに至るまで先輩クラブはもとより多くの方々にご支援頂きましたことに感謝申し上げると共に、慢心することなくさらに前進することを誓い、ささやかながら創立10周年記念式典を開催しました。

司会 S.A.A. 小山 雅弘
アナウンサー 千田 由貴

式典の部 (午後5時~5時45分)

点 鐘	会 長	大 谷 和 雄
“君が代”	全 員	
“奉仕の理想”	全 員	
開式の辞	実行副委員長	秋 山 茂 則
実行委員長挨拶	実行委員長	水 野 民 也
来賓紹介	会 長	大 谷 和 雄
会長挨拶	会 長	大 谷 和 雄
物故会員黙祷		
記念事業発表	実行委員長	水 野 民 也
記念事業目録贈呈	会 長	大 谷 和 雄
感謝状	名古屋市長	西 尾 武 喜
来賓祝辞	名古屋市長	西 尾 武 喜
	ガバナー	神 戸 政 治
祝電披露		
閉式の辞	副会長	水 野 賀 統
点 鐘	会 長	大 谷 和 雄

祝宴の部 (午後6時~7時30分)

開宴の辞	記念式典委員長	加 藤 大 豊
記念演奏	名古屋短期大学附属高等学校管弦楽団	
乾 杯	第二分区代理	日 比 榮 一
	ビデオ(創立・記念事業・その他)	
	BGM	
	シャンソン歌手	松 本 幸 枝
	ピアノ	加 藤 修 滋
閉宴の辞	会長エレクト	黒 野 貞 夫
“手に手つないで”	全 員	

来 賓

名古屋市長	西尾 武喜	名古屋守山RC 会 長 滑 尚眞
千種区長	根岸 恭久	名古屋港RC 会 長 三木 庸行
名古屋市交通局長	平野 幸雄	幹 事 中村 吉夫
名古屋市交通局電車部長	河合 欣一	名古屋東南RC 副会長 井土 修次
千種警察署長	太田 豊實	幹 事 宮崎 薫
千種消防署長	清水 修	名古屋中RC 会 長 小林 丈紘
千種保健所長	笹野 英子	幹 事 山口 道夫
朝日新聞名古屋本社	尾崎 守男	名古屋和合RC 会 長 大沼 協一
		幹 事 森 武保
第2760地区ガバナー	神戸 政治	名古屋名東RC 会 長 小林 素文
第2760地区第一分区代理	林 光雄	幹 事 鶴飼 久夫
第2760地区第二分区代理	日比 榮一	名古屋瑞穂RC 会 長 伊丹 寛一
スポンサークラブ	尾関 重雄	幹 事 遠山 堯郎
スポンサークラブ	伴 正男	名古屋北北RC 会 長 土屋 利行
		幹 事 中川 偉弘
名古屋RC	会長以外 伊藤 是介	名古屋大須RC 会 長 山田 邦彦
	幹 事 荒川慎太郎	幹 事 神田 憲
名古屋西RC	副会長 天野 源治	名古屋栄RC 会 長 三尾 康彦
	幹 事 川島 誠	副幹事 福本 豊彦
名古屋南RC	会 長 加藤 茂	名古屋名南RC 会長以外 木村 仁彦
	幹 事 長苗 克彦	幹 事 伊藤 圭一
名古屋北RC	会 長 藤田 孝雄	名古屋名駅RC 会 長 大塚 芳雄
	幹 事 加藤 芳彦	幹 事 久留宮 秋人
名古屋東RC	副会長 谷澤 光治	名古屋昭和RC 会 長 原田 清
	幹 事 末岡 照章	副幹事 乃一 稔

報道関係

朝日新聞名古屋本社	中京テレビ放送
中日新聞社	中部経済新聞社

☆実行委員長挨拶

※※※成田実行副委員長（代読）

本日、当クラブ創立10周年記念式典を開催致しましたところ、名古屋市長・西尾武喜様、ガバナー神戸政治様を始め多数のご来賓の方々のご臨席を賜りましたことに、まずもって厚くお礼を申し上げます。また、会員の皆様並びに奥様方、ご多用中にも拘りませず、ご出席下さいまして誠にありがとうございます。

秋たけなわの良き日に、創立10周年の記念式典を挙げてきましたことは、関係各位及び歴代の役員並びに会員の皆様の永年に亘るご協力の賜物でございまして、心から感謝を申し上げます。

当クラブは、昭和57年6月11日、名古屋13RCの会長幹事会で当時の山田分区代理と相羽次期分区代理から「東RCでは是非新クラブを設立してほしい」との要請があったことが発端であります。当時の東RC会長・尾関さんがこれを受けて私に「頼むよ」と言われましたので、早速故余語パスト分区代理に特別代表をお願いし、故山田さんにガバナーエイド、大隅ガバナー、相羽分区代理にそれぞれ報告をし、私が会長をお引受することに致しました。その後準備に2か月間程要しましたが、皆様のお力添えによりまして、名古屋東RCをスポンサーに、昭和57年8月16日、当時の260地区で88番目、市内では14番目のクラブとして誕生致しました。8日後の8月24日には、国際ロータリー加盟承認を頂き、10月19日に加盟の認証状伝達式が愛知厚生年金会館大ホールで行われました。伝達式には、当時の仲谷知事、本山市長さんをはじめ、1,000名近くのロータリアンが参加され、外山雄三氏の率いる名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏のもとに華やかに行われました。発足時の会員は26名でございましたが、現在では68名を擁するクラブに発展してまいりました。何事も産みの苦しみがありますように、千種RCの設立に当たっては大変な苦しみがありました。そんな中で初代の会長を仰せつかりましたので、この10年間にこんなに立派なRCになり、本日その記念式典を挙げるに至りましたことを想いますと、感無量でございます。

RCの基本理念は、会員相互の親睦をはかることにより、社会の超我の奉仕をすることです。そのためには、会員相互がより深く理解し合うことが肝要でありますから、親睦の場をなるべく多く持つことが必要であります。単に物質的な奉仕をするのでは「心」がこもっていません。「思いやり」の上にたつての奉仕こそ真の奉仕であり、ロータリアン精

神に添った奉仕であります。

この10年間にいろんなことがございました。オーストラリアとの姉妹クラブ提携、大谷現会長のお骨折りによる演奏会。今まで10年間の歴代会長のもと、それぞれの特色ある年度を過ごして参りました。

本日お集まり下さいましたご来賓の方々と同じの皆様、10年は単なる区切りに過ぎません。今日から新しい気持ちでロータリアン精神を発揮し、千種RCが益々発展致しますとともに、社会に歓迎されるよう一層のご努力をお願い致します。

以上をもちまして、はなはだ簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

☆会長挨拶

※※※大谷 和雄会長

爽やかなこのよき日に、名古屋千種ロータリークラブ創立10周年記念式典を催しましたところ、ご来賓の皆様方にはご多用の中をご臨席賜り、式典に花をお添え頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

本クラブは昭和57年、東ロータリークラブを親クラブとして誕生し、兄弟クラブのご指導他クラブのご支援を得て十霜を経てまいりました。十は聚、集まりであります。5指ずつ両手を合わせ奉仕のために集まったのであります。歴代会長・幹事・理事・役員・会員の方々と友情のハーモニーが奏でられてまいりました。

この10年間、世界はソ連の崩壊に象徴されるように激動いたしました。しかし、モスクワにもロータリークラブが生まれ、中国にもその徴（しるし）ありと聞いております。これは「世のために働き、つくし合おう」という心に共感が寄せられたものと信じております。また、一方では環境についても大きな変化があり、地球的な環境破壊が進んでおります。ロータリーの活動も、常に時代に、状況に適切に対応しなければなりません。

ダクターマンR.I.会長は「まことの幸福は人助けから」と提唱されております。十年を契機に、今まで以上に、奉仕の理想の実践にむかうことをお互いに誓いあって挨拶といたします。

☆物故会員黙祷

創立から今日までにお亡くなりになられました堀場 利幹様、古川 勝巳様、武内 清様に会員一同黙祷をささげました。

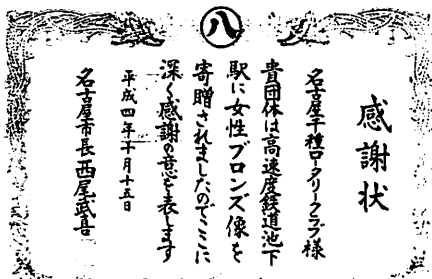
☆記念事業発表

成田実行副委員長（代読）

名古屋千種RCは平成2年より水野創立会長を
実行委員長に又会長経験者を実行委員、及び
小委員長にし、10周年記念事業とし実行委員
会で検討を重ねた結果、当クラブ会員の山本
眞輔先生にブロンズの制作をお願いし、名古
屋市に寄贈することに決定いたしました。西
尾市長、平野交通局長、河合電車部長のご理
解、ご承認の下、地下鉄池下駅前に設置する
ことができました。一昨日13日に除幕式があ
りましたが、このブロンズ像が池下駅周辺に
色どりとうるおいを、そして千種区民の皆様
に憩いと安らぎ、ゆとりの心を与えてくれる
と信じかつ期待するものであります。

☆感謝状

記念事業目録贈呈後、感謝状を頂きました。



☆来賓祝辞

西尾 武喜 名古屋市長

名古屋千種ロータリークラブ創立10周年の
記念の席にお招き頂き誠にありがとうございました。
又、このように盛大に10周年のお祝
ができましたこと心よりお喜び申し上げます。

只今は、立派な山本先生の作品を池下駅
前に頂戴し、大変感謝しております。池下駅は
学生さんがたくさん乗り降りされる千種区で
も中枢の駅でございまして、あのやさしいブ
ロンズ像を見ることにより心が洗われるので
はないかと思ひ、千種ロータリークラブの皆
様に重ねて御礼申し上げる次第でございます。

また、千種ロータリークラブの皆様は、奉
仕の精神に基づき、地域社会にご貢献されて
こられた訳でございまして、私共としまして
も感謝と敬意を表したいと思ひます。

特に千種区は文教地区・商業地区・住宅地
区と大変バランスのとれた素晴らしい区です。
しかし、まだまだこれからやっつけていかなけれ
ばいけないことも数多く、市としても色々な
計画をもっている区の1つです。

今日はブロンズ像を頂戴したということで
交通局長もお招きを賜っておりますが、交通

局の方でもこれからこの地区で大きな事業を
する予定になっています。その1つが地下鉄4
号線（大曾根から本山を通り名古屋大学、更
には新端まで）の建設でありまして、今一生
懸命努力しております。

名古屋市ではさしあたって、この3年間に第
2次推進計画というのを持っていて、人に
やさしい・ときめき・21世紀の基盤作りを柱に
しておりますが、その中で特にときめきと申
しますか、エキサイティングな街にしたいと
いう希望があります。デザイン博の3周年記念
ということで、明日より宵祭りが新しいNHK
の広場で“光の一大パジェント”と題し行
われます。又、17・18日は恒例の名古屋祭り
でございます。是非とも多数の皆さんに参加
して頂き、エキサイティングな街作りにご協
力をお願いしたいと思います。

いずれにしましても、千種ロータリークラ
ブの皆さんのような社会奉仕は、市の行政で
は届かないところに目が届く訳でございま
して、名古屋で第1の千種区が更に輝きを増し充
実してくるというのは、皆様方の力の如何に
かわかっていると思っております。

今後とも地域社会への一層のご支援と奉仕
をご期待申し上げます。御礼・御祝の挨拶
とさせていただきます。

神戸 政治 ガバナー

今日は創立10周年記念例会にお招き頂きあ
りがとうございました。

大変立派なクラブですので東ロータリーク
ラブの皆様もお喜びになっていることと思
います。10年と申しますと丁度人間という成人式
にあたるのではないかと思います。ロータリー
のことは一通り経験なさり、日頃よりすばら
しい活動をしておられることと思ひます。ど
うかこれから更に発展して下さいませようご
期待致します。

“鷹が鷹を生む”という言葉がありますが恐
らく東RCの方々は鷹になることを望んでおら
れると思ひます。ですから、この10周年を契
機として名実ともに鷹のクラブになりますよ
うお願いしたいと思います。そして更に20周
年30周年と成長していきたく思ひます。

千種クラブにつきましては本年度公式訪問
を終わっておりますので、立派なクラブであ
ることは充分承知しておりますが、ダクター
マン会長のテーマ“まことの幸福は人助けか
ら”を合言葉として奉仕に邁進して下さいま
すことを願っております。

それでは益々のクラブの発展とここにいら
っしゃいます皆様方のご健勝を祈りましてご
挨拶にかえさせていただきます。

式典の部



お加減を悪くされた水野実行委員長に代わり
実行委員長挨拶をされる成田副委員長。
当日は水野委員長もお元気に出席され皆さん
ほっとされました。



会長挨拶をされる大谷会長。
“緊張のあまり言うことを忘れてしまった”と
のお話でしたが、そのような様子は全くうか
がえなかったとの事でした。



西尾名古屋市長へ記念事業目録を手渡される大谷会長。



祝辞を述べられる西尾市長。



祝辞を述べられる神戸ガバナー。

祝宴の部



ヨハン・シュトラウス作曲「クラブフェの森で」
「歌手の愉快的なポルカ」「シャンパンポルカ」を
演奏してくださった名古屋短期大学附属高校
管弦楽団の皆さん。指揮 広中美代子先生。



乾杯のご発声をされる日比第二分区代理。
“よいワインはよい人間から”



アトラクションとして、シャンソン歌手の松本幸枝さん、ピアニストの加藤修滋さんに「愛の讃歌」「百万本のバラ」等シャンソンならではの名曲をご披露頂きました。



“手に手つないで”
10周年を振り返り次なる年度にむかい歌われる皆さん。

第499回例会

◇出席報告

会員 68(66)名 出席 65名
出席率 98.48 %
前回 10月13日 (修正出席率) 98.44%

◇ビジター紹介 113名(10月20日)

◇ニコボックス

足立 一成君、秋山 茂則君、安藤銀之助君、青山 敏郎君、江崎 民夫君、深見 章君、林 淳三君、堀江 宏輝君、池田 隆君、今枝 秀夫君、今井 浩壹君、今西 幸一君、釜谷 健一君、加藤 大豊君、菊池 昭元君、木全 昭二君、小林 明君、久保田 皓君、黒野 貞夫君、黒須 一夫君、松居 敬二君、松島 孝彰君、三輪 康君、宮尾 紘司君、水野 民也君、水野 賀統君、永井 正義君、中山 信夫君、成田 良治君、新美 敢君、西川 豊長君、西野 英樹君、西尾 正巳君、奥村 登喜朗君、大口 弘和君、太田 茂君、大谷 和雄君、尾関 武弘君、佐久間良治君、佐野 寛君、笹野 義春君、菅原 宣彦君、杉山 貞男君、鈴木 理之君、田部井良和君、竹内 眞三君、谷口 暢宏君、上野 保君、魚津 常義君、和田 正敏君、鷲野 義明君、渡辺 辰夫君、山本 眞輔君 創立10周年を記念して。

◇池田幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はお残り下さい。

◇米山功労者メダル授与

10周年を記念して、大口 弘和君、和田 正敏君が功労者となられ、大谷会長よりメダルが授与されました。

第5回テニス会

体育の日10/10覚王山テニスクラブにて第5回テニス会を開催し、有意義に会員の親睦・健康増進に寄与しました。

本日は5人の参加のもとゲームに終始しましたが、ラケットを握って5回目の新人が好プレー・珍プレーの連続でゲームを楽しむことが出来ました。

第6回テニス会

(覚王山テニスクラブ 10/20(火))

夜来の雨も9時過ぎにはやみ、日も差して来て絶好の秋日和となりました。スコアーは次の通り。

今枝・木下夫人 4-0 今西・今枝夫人
今枝夫人・木下夫人 4-3 今枝・今西
今枝夫妻 6-2 今西・木下夫人

◇例会変更のお知らせ

豊山一城北RC 11/10(火)飯田東RCとの合同例会の為、18時30分より
名古屋名東RC 11/10(火)名東区小中学校連合音楽会の為、11/4(水)愛知厚生年金会館にて
名古屋和合RC 11/18(水)もみじ例会の為、かすが荘にて18時30分より
名古屋名北RC 11/18(水)夜間例会及びI. D. M. の為、平安殿にて17時30分より
名古屋守山RC 11/19(木)地区大会振替の為
名古屋北RC 11/20(金)第2回I. D. M. の為、大加利にて17時30分より
豊山一城北RC 11/24(火)地区大会全員登録の為、11/23(月)瀬戸市体育館にて9時より
名古屋東南RC 11/26(木)名南RCとの合同夜間例会の為、11/24(火)18時より
名古屋港RC 11/27(金)地区大会全員登録の為、11/23(月)瀬戸市体育館にて9時より
名古屋空港RC 11/30(月)地区大会全員登録の為、11/23(月)瀬戸市体育館にて9時より
あ まRC 11/30(月)地区大会全員登録の為、11/23(月)瀬戸市体育館にて9時より

◇次回例会(10月27日)

クラブフォーラム(IM報告)

◇次々回例会(11月10、11日)

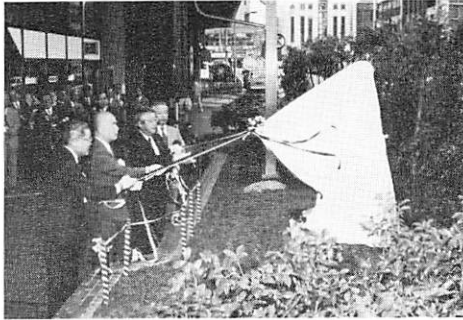
秋季家族会(伊豆川奈ホテルにて18時より)

創立10周年記念事業
名古屋市寄贈『ブロンズ像 除幕式行われる』

10月13日(火) 12:00より地下鉄池下駅前にて、創立10周年を記念し名古屋市へ寄贈したブロンズ像の除幕式を記念事業委員会により行いました。又、名古屋市交通局長 平野幸雄様、電車部長 河合欣一様にもご出席賜りました。

◇開式の辞 大口記念事業副委員長

◇除幕



大谷会長、菊池記念事業委員長、平野局長様、河合電車部長様の手により除幕。

◇寄贈者挨拶 大谷会長

このたび名古屋千種ロータリークラブは10周年をむかえました。この事業として、山本眞輔先生作のブロンズ像「翔(はばた)き」を名古屋市に寄贈することになりました。本日この地下鉄池下駅前に設置して頂く事になり、除幕式が行われたのであります。千種区は文化の「まち」であります。ここにもっともふさわしい作品であろうと思っております。芸術が人に与える感動ははかり知れないものがあります。

あさ 行く人の 希望 生きる力となり
ひる 来る人の 夢、あこがれ、
ゆう 帰る人の やすらぎ、憩い
となることを願っております。

◇名古屋市代表者挨拶

平野 幸雄 名古屋市交通局長

交通局長の平野でございます。一言、お礼のごあいさつを申し上げます。

本日は、名古屋千種ロータリークラブ創立10周年記念事業の一つとして、このようなすばらしいブロンズ像を、ご寄贈いただきまして、厚くお礼を申し上げます。

現在、交通局では、地下鉄駅を単にお客様が乗り降りするためだけのものではなく、そこで情報を得たり、待ちあわせ場所とするなど、いろいろな機能を有する場として皆様に親しまれるよう、魅力ある駅づくりを目指しているところでございます。

そのような中にありまして、本日ご寄贈頂

きましたブロンズ像は、この池下駅に彩りと潤いを与え、特色ある駅づくりに役立つものであり、心から感謝いたしている次第であります。

この池下駅は、昭和59年に総合開発が行われ、バスターミナル、市営住宅、店舗が一体となった千種区の拠点駅として、多彩な機能を有しております。更に現在、広小路通の拡幅、駅周辺の再開発などが計画されており、今後の躍進に大きな期待が寄せられているところでございます。

ご寄贈頂きましたブロンズ像「翔き」は、限らない可能性を秘めた若い力が表現されており、まさに発展途上の池下駅にぴったりのイメージであると思うわけでございます。

このブロンズ像が、池下駅のシンボルとして、末長く多くの方々にあされ、親しまれることを祈念いたしまして、簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

◇作者の言葉 山本 眞輔君



「翔き」を制作させていただきました。地下鉄池下駅前に、千種ロータリークラブのこれからのイメージを、限らない可能性を求めて未来へ出発する若い力を小鳥と少女の姿をかりて表現してみました。作者としてはここに自分の娘をおいてゆくような気持ちです。一日でも早くこの地になじみ、通る人、住む人の友だちになり、末永く地域の方々に、かわいがられるよう願っております。

◇閉会の辞 大口記念事業副委員長

※奥村広報委員長のお骨折りにより除幕式の際は、中日新聞・中部経済新聞・毎日新聞にも掲載され、中京TVにて放映されました。